

令和8年度 農業経営に関する意向調査(アンケート)結果表

対象者	1 ha以上経営されている販売農家				
送付数	630	回答数	373	回答率	59.21 %
前回	619		321		51.86 %

調査期間	令和8年6月22日～7月10日
------	-----------------

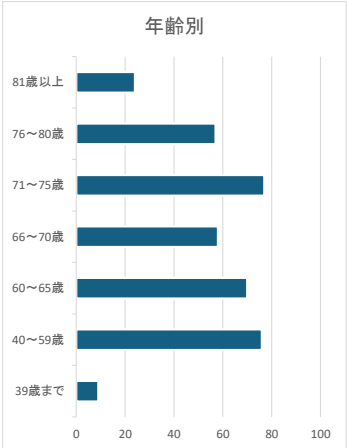
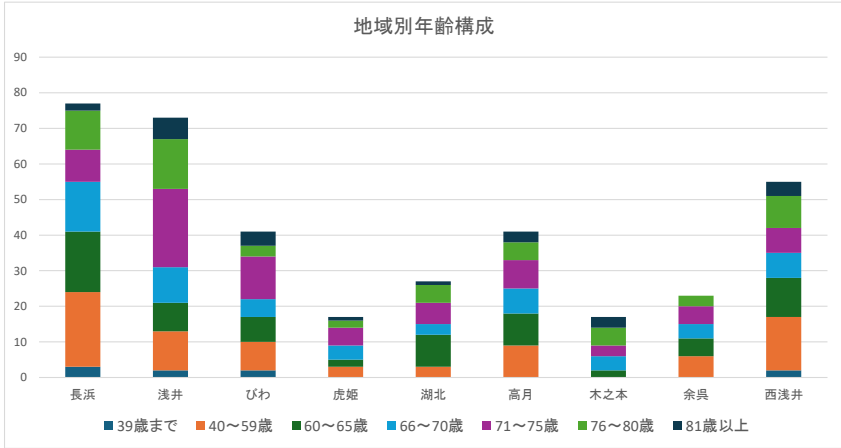
問 1 お住まいの地域は

長浜	77	前回 65
浅井	73	前回 60
びわ	41	前回 35
虎姫	17	前回 18
湖北	28	前回 36
高月	41	前回 31
木之本	17	前回 18
余呉	23	前回 13
西浅井	56	前回 45
計	373	前回 321

問 2 あなたの年齢は

地区名	39歳まで	40～59歳	60～65歳	66～70歳	71～75歳	76～80歳	81歳以上
長浜	3	21	17	14	9	11	2
浅井	2	11	8	10	22	14	6
びわ	2	8	7	5	12	3	4
虎姫	0	3	2	4	5	2	1
湖北	0	3	9	3	6	5	1
高月	0	9	9	7	8	5	3
木之本	0	0	2	4	3	5	3
余呉	0	6	5	4	5	3	0
西浅井	2	15	11	7	7	9	4
計	9	76	70	58	77	57	24

(未回答除く)



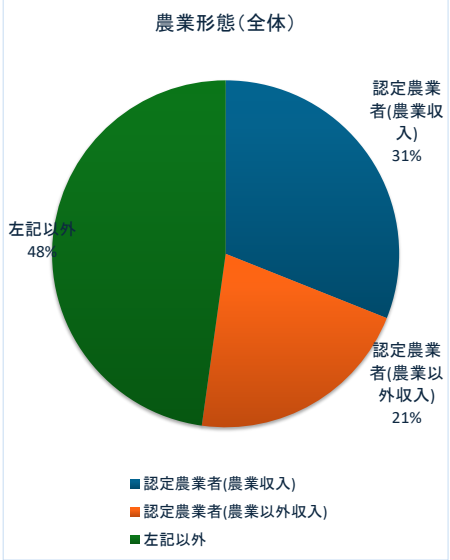
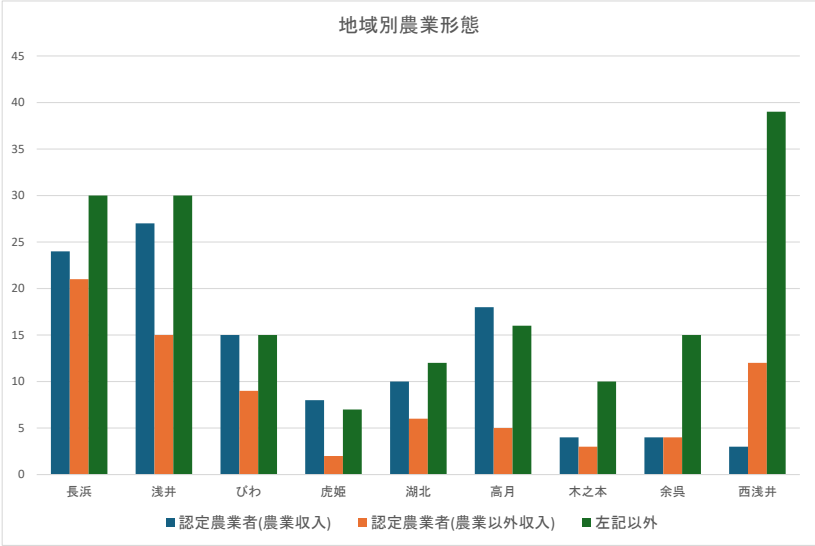
問 2 年齢

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
39歳まで	9	2%	5	2%
40～59歳	76	20%	63	20%
60～65歳	70	19%	53	17%
66～70歳	58	16%	54	17%
71～75歳	77	21%	82	26%
76～80歳	57	15%	40	13%
81歳条	24	6%	21	7%
計	371	100%	318	100%

問 3 あなたの農業形態は

地区名	認定農業者(農業収入)	認定農業者(農業以外収入)	左記以外	計
長浜	24	21	30	75
浅井	27	15	30	72
びわ	15	9	15	39
虎姫	8	2	7	17
湖北	10	6	12	28
高月	18	5	16	39
木之本	4	3	10	17
余呉	4	4	15	23
西浅井	3	12	39	54
計	113	77	174	364

(未回答除く)

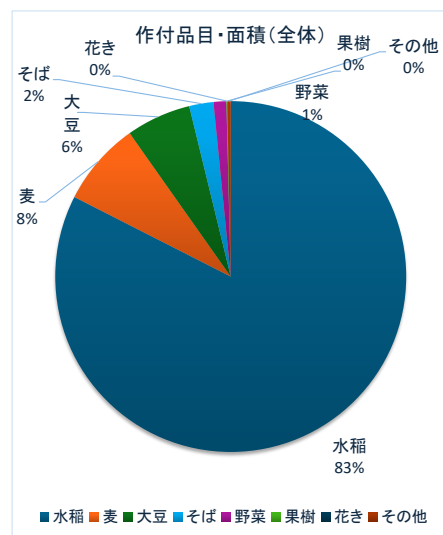
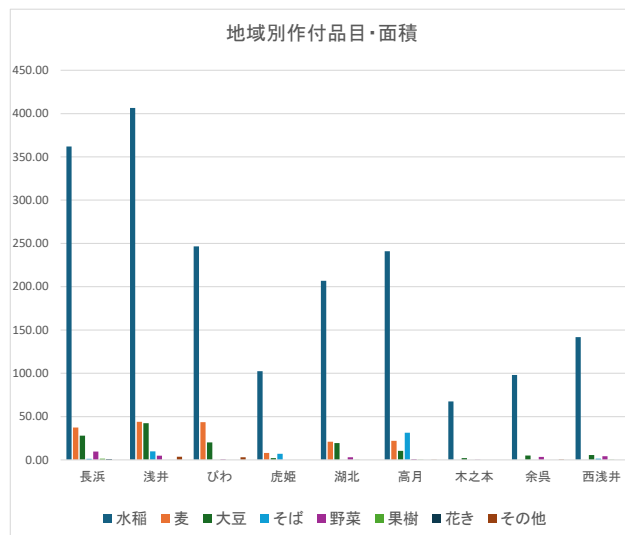


問3 農業形態

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
認定農業者	113	31%	110	34%
認定(兼業)農業者	77	21%	69	22%
個人農業者	174	48%	140	44%
計	364	100%	319	100%

問4 作付品目、面積 単位＝ha

品目	水稻	麦	大豆	そば	野菜	果樹	花き	その他	計
長浜	361.97	37.31	28.05	1.30	9.59	1.40	0.12	0.00	439.73
浅井	406.57	43.95	42.44	9.90	4.82	0.00	0.00	3.63	511.31
びわ	246.55	43.50	20.10	0.00	0.60	0.00	0.00	3.00	313.75
虎姫	102.35	8.00	2.10	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	119.45
湖北	206.80	21.00	19.40	0.00	3.10	0.10	0.00	0.00	250.40
高月	240.97	22.00	10.50	31.30	0.82	0.07	0.00	0.10	305.76
木之本	67.53	0.00	2.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	69.58
余呉	98.05	0.00	5.00	0.00	3.52	0.00	0.00	0.50	107.07
西浅井	141.79	0.00	5.70	1.35	4.14	0.05	0.00	0.00	153.03
計	1872.58	175.76	135.29	50.85	26.64	1.62	0.12	7.23	2270.08



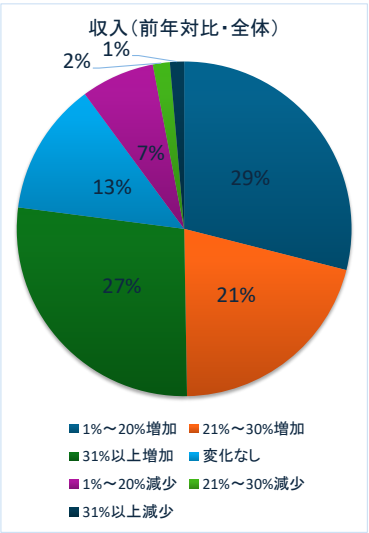
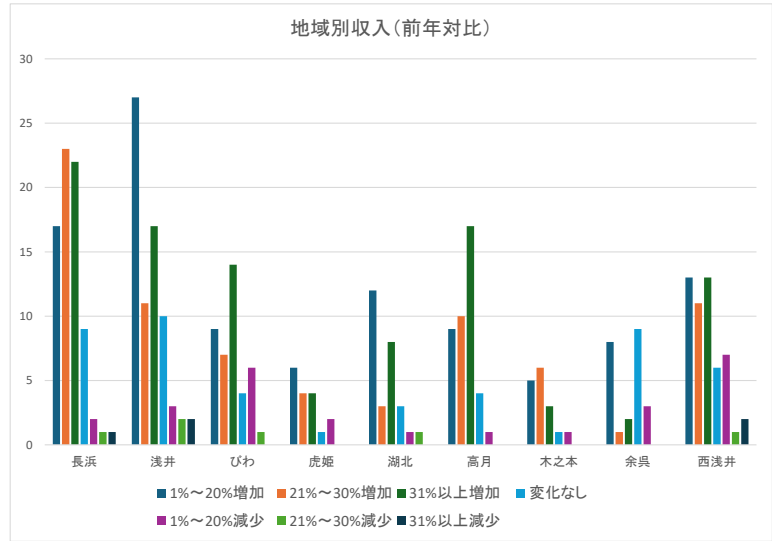
問4 作付品目

	R8面積	R8割合	R7面積	R7割合
水稻	1872.58	82%	2904.028	80%
麦	175.76	8%	369.149	10%
大豆	135.29	6%	278.89	8%
そば	50.85	2%	31.11	1%
野菜	26.64	1%	35.75	1%
果樹	1.62	0%	3.35	0%
花き	0.12	0%	0.03	0%
その他	7.23	0%	22.58	1%
計	2270.08	100%	3644.887	100%

問5 収入状況、前年対比

品目	1%～20%増加	21%～30%増加	31%以上増加	変化なし	1%～20%減少	21%～30%減少	31%以上減少	計
長浜	17	23	22	9	2	1	1	75
浅井	27	11	17	10	3	2	2	72
びわ	9	7	14	4	6	1	0	41
虎姫	6	4	4	1	2	0	0	17
湖北	12	3	8	3	1	1	0	28
高月	9	10	17	4	1	0	0	41
木之本	5	6	3	1	1	0	0	16
余呉	8	1	2	9	3	0	0	23
西浅井	13	11	13	6	7	1	2	53
計	106	76	100	47	26	6	5	366

(未回答除く)



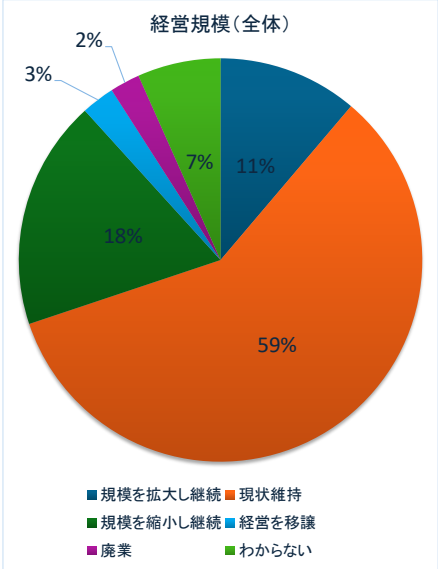
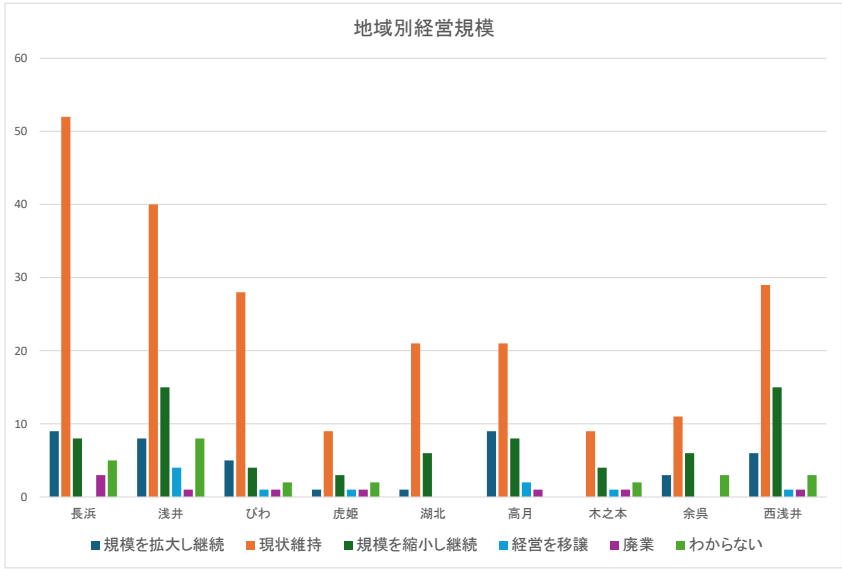
問5 収入状況

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
1%～20%増加	106	29%	118	38%
21%～30%増加	76	21%	37	12%
31%以上増加	100	27%	23	7%
変化なし	47	13%	81	26%
1%～20%減少	26	7%	34	11%
21%～30%減少	6	2%	12	4%
31%以上減少	5	1%	9	3%
計	366	100%	314	100%

問6 今後の経営・事業展開は

地区名	規模を拡大し継続	現状維持	規模を縮小し継続	経営を移譲	廃業	わからない	計
長浜	9	52	8	0	3	5	77
浅井	8	40	15	4	1	8	76
びわ	5	28	4	1	1	2	41
虎姫	1	9	3	1	1	2	17
湖北	1	21	6	0	0	0	28
高月	9	21	8	2	1	0	41
木之本	0	9	4	1	1	2	17
余呉	3	11	6	0	0	3	23
西浅井	6	29	15	1	1	3	55
計	42	220	69	10	9	25	375

(未回答除く)



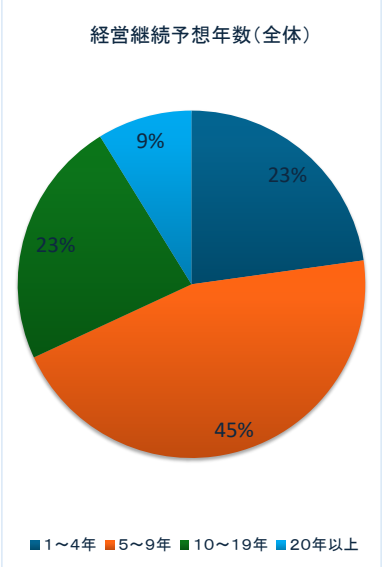
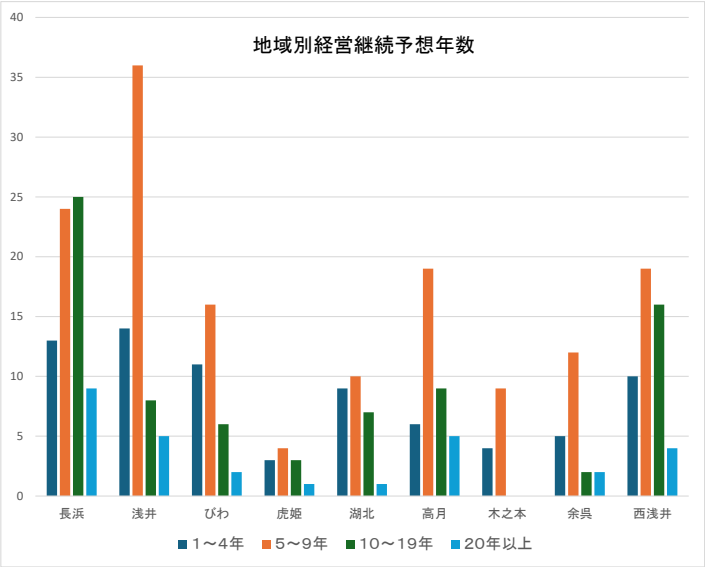
問6 今後の経営・事業展開

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
規模を拡大し継続	42	11%	38	12%
現状維持	220	59%	178	57%
規模縮小し継続	69	18%	59	19%
経営移譲したい	10	3%	8	3%
廃業したい	9	2%	16	5%
わからない	25	7%	15	5%
計	375	100%	314	100%

問7 (継続と答えた方) 何年程度現状を維持しようと考えていますか

地区名	1～4年	5～9年	10～19年	20年以上	計
長浜	13	24	25	9	71
浅井	14	36	8	5	63
びわ	11	16	6	2	35
虎姫	3	4	3	1	11
湖北	9	10	7	1	27
高月	6	19	9	5	39
木之本	4	9	0	0	13
余呉	5	12	2	2	21
西浅井	10	19	16	4	49
計	75	149	76	29	329

(未回答除く)

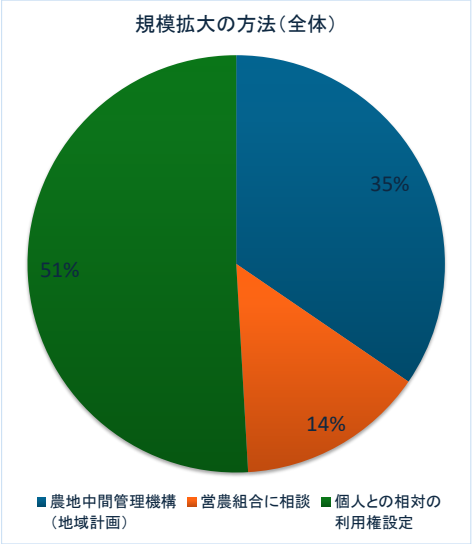
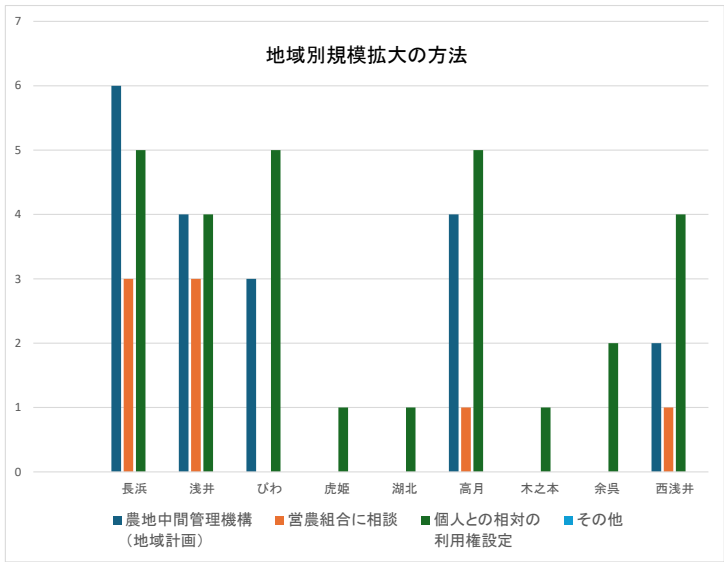


問7 今後、何年程度継続できるか

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
1～4年	75	23%	60	23%
5～9年	149	45%	116	44%
10～19年	76	23%	63	24%
20年以上	29	9%	24	9%
計	329	100%	263	100%

問8 （規模拡大と答えた方）どのような手法により拡大する予定ですか

地区名	農地中間管理機構 (地域計画)	営農組合に相談	個人との相対の 利用権設定	その他
長浜	6	3	5	0
浅井	4	3	4	0
びわ	3	0	5	0
虎姫	0	0	1	0
湖北	0	0	1	0
高月	4	1	5	0
木之本	0	0	1	0
余呉	0	0	2	0
西浅井	2	1	4	0
計	19	8	28	0

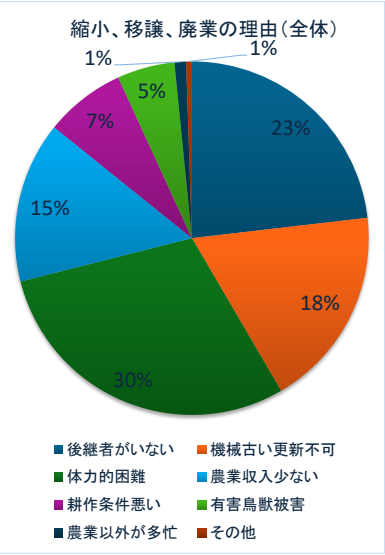
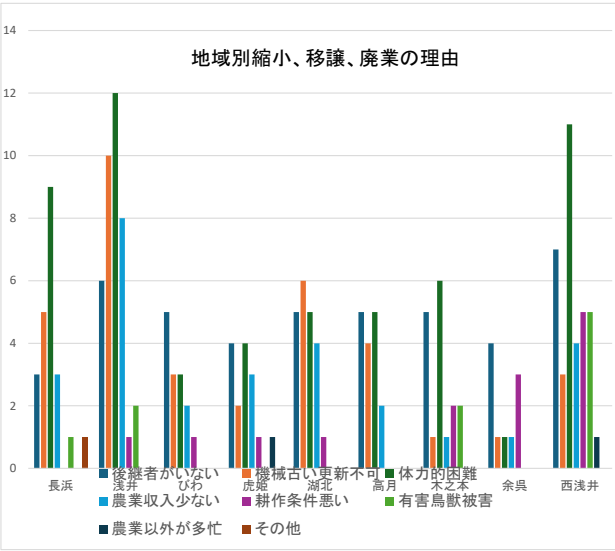


問8 （規模拡大と答えた方）どのような手法により拡大する予定ですか

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
農地中間管理機構	19	35%	19	38%
営農組合に相談	8	15%	5	10%
個人との相対の 利用権設定	28	51%	25	50%
その他	0	0%	1	2%
計	55	100%	50	100%

問9 （規模縮小、移譲、廃業と答えた方）その大きな理由は何ですか

地区名	後継者がいない	機械古い更新不可	体力的困難	農業収入少ない	耕作条件悪い	有害鳥獣被害	農業以外が多忙	その他	計
長浜	3	5	9	3	0	1	0	1	22
浅井	6	10	12	8	1	2	0	0	39
びわ	5	3	3	2	1	0	0	0	14
虎姫	4	2	4	3	1	0	1	0	15
湖北	5	6	5	4	1	0	0	0	21
高月	5	4	5	2	0	0	0	0	16
木之本	5	1	6	1	2	2	0	0	17
余呉	4	1	1	1	3	0	0	0	10
西浅井	7	3	11	4	5	5	1	0	36
計	44	35	56	28	14	10	2	1	190

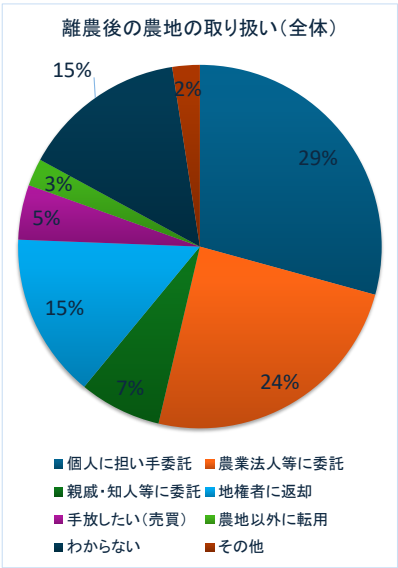
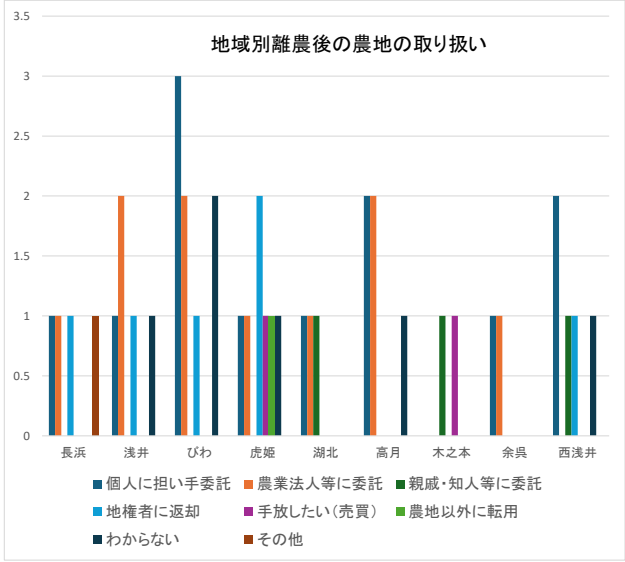


問9 規模縮小、移譲、廃業を考える理由

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
後継者不足	44	23%	50	24%
機械更新不可	35	18%	39	18%
体力的困難	56	29%	66	31%
農業収入少ない	28	15%	32	15%
耕作条件悪い	14	7%	10	5%
有害鳥獣被害	10	5%	10	5%
他が多忙	2	1%	4	2%
その他	1	1%	1	0%
計	190	100%	212	100%

問10 （廃業と答えた方）離農後の農地についてどうしますか

地区名	個人に担い手委託	農業法人等に委託	親戚・知人等に委託	地権者に返却	手放したい（売買）	農地以外に転用	わからない	その他	計
長浜	1	1	0	1	0	0	0	1	4
浅井	1	2	0	1	0	0	1	0	5
びわ	3	2	0	1	0	0	2	0	8
虎姫	1	1	0	2	1	1	1	0	7
湖北	1	1	1	1	0	0	0	0	3
高月	2	2	0	0	0	0	1	0	5
木之本	0	0	1	0	1	0	0	0	2
余呉	1	1	0	0	0	0	0	0	2
西浅井	2	0	1	1	0	0	1	0	5
計	12	10	3	6	2	1	6	1	41



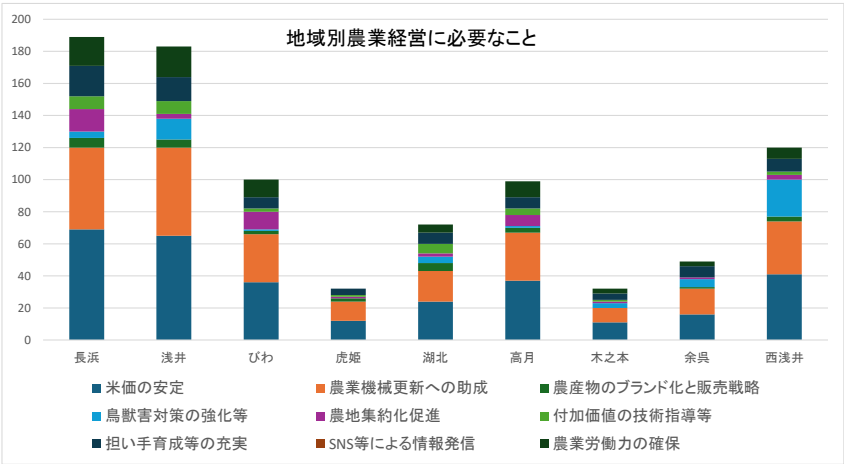
問10 （廃業と答えた方）離農後の農地についてどうしますか

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
個人に担い手委託	12	29%	18	35%
農業法人等に委託	10	24%	10	20%
親戚・知人等に委託	3	7%	4	8%
地権者に返却	6	15%	5	10%
手放したい（売買）	2	5%	8	16%
農地以外に転用	1	2%	2	4%
わからない	6	15%	4	8%
その他	1	2%	0	0%
計	41	100%	51	100%

問11 農業経営を継続するため必要なことは何です ※最大3つまで選択可

1	米価の安定	2	農業機械更新への助成	3	農産物のブランド化と販売戦略	4	鳥獣害対策の強化等
5	農地集約化促進	6	付加価値の技術指導等	7	担い手育成等の充実	8	SNS等による情報発信
9	農業労働力の確保						

地区名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
長浜	69	51	6	4	14	8	19	0	18
浅井	65	55	5	13	3	8	15	0	19
びわ	36	30	2	1	11	2	7	0	11
虎姫	12	12	2	0	1	1	4	0	0
湖北	24	19	5	4	2	6	7	0	5
高月	37	30	3	1	7	4	7	0	10
木之本	11	9	0	3	1	1	4	0	3
余呉	16	16	1	5	1	0	7	0	3
西浅井	41	33	3	23	3	2	8	0	7
計	311	255	27	54	43	32	78	0	76

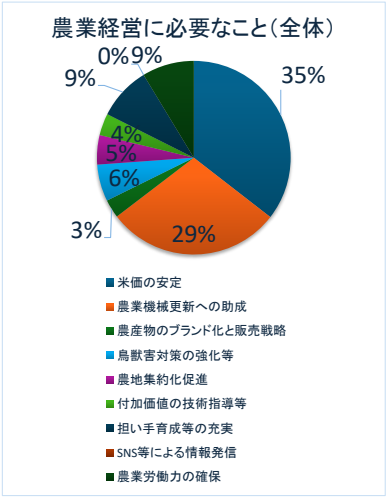


問11 農業経営を維持するために必要なこと

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
米価安定	311	36%	261	34%
機械助成	255	29%	225	29%
販売戦略	27	3%	29	4%
獣害対策	54	6%	32	4%
集約化	43	5%	48	6%
付加価値	32	4%	27	4%
担い手育成	78	9%	68	9%
情報発信	0	0%	6	1%
労働力確保	76	9%	69	9%
計	876	100%	765	100%

1位	米価の安定
2位	農業機械更新への助成
3位	担い手育成等の充実

その他
勝手な耕作方法(品種・時期)による入水時のまばらな被害がひどい。有害動物で駆除してほしい。
営農組合への助成
機械のレンタル
個人の体力と健康
農地 圃場の再整備
中途半端な面積の経営で、国や県の補助対象にならず
官地の管理を公が実施すること。相続時に評価額に反映

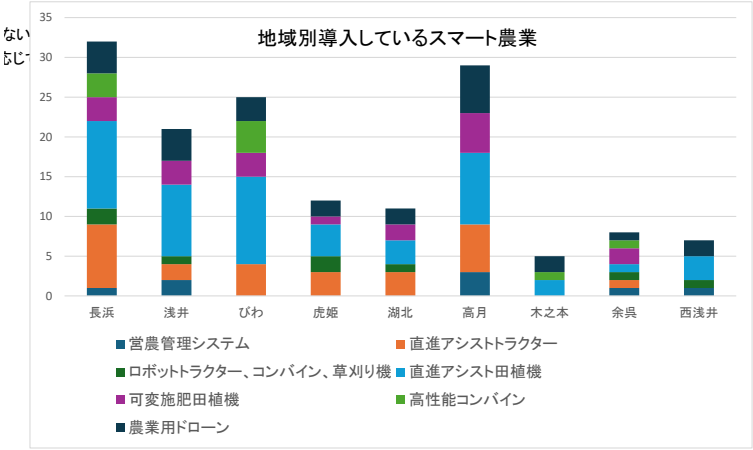


問12 現在導入しているスマート農業技術は ※最大3つまで選択可

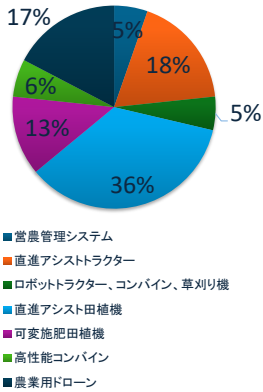
1	営農管理システム	2	直進アシストトラクター	3	ロボットトラクター、コンバイン、草刈り機	4	直進アシスト田植機
5	可変施肥田植機	6	高性能コンバイン	7	農業用ドローン		

地区名	1	2	3	4	5	6	7
長浜	1	8	2	11	3	3	4
浅井	2	2	1	9	3	0	4
びわ	0	4	0	11	3	4	3
虎姫	0	3	2	4	1	0	2
湖北	0	3	1	3	2	0	2
高月	3	6	0	9	5	0	6
木之本	0	0	0	2	0	1	2
余呉	1	1	1	1	2	1	1
西浅井	1	0	1	3	0	0	2
計	8	27	8	53	19	9	26

1位	直進アシスト田植機
2位	直進アシストトラクター
3位	農業用ドローン



導入しているスマート農業(全体)



問12 現在導入しているスマート農業技術は

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
営農管理システム	8	5%	9	8%
直進アシストトラクター	27	18%	12	11%
ロボットトラクター、コンバイン、草刈り機	8	5%	4	4%
直進アシスト田植機	53	35%	36	32%
可変施肥田植機	19	13%	18	16%
高性能コンバイン	9	6%	8	7%
農業用ドローン	26	17%	26	23%
計	150	100%	113	100%

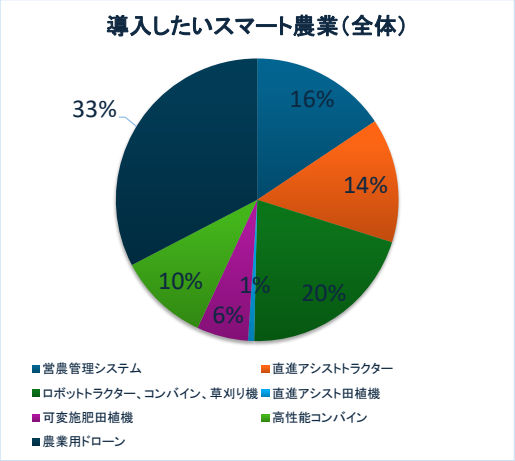
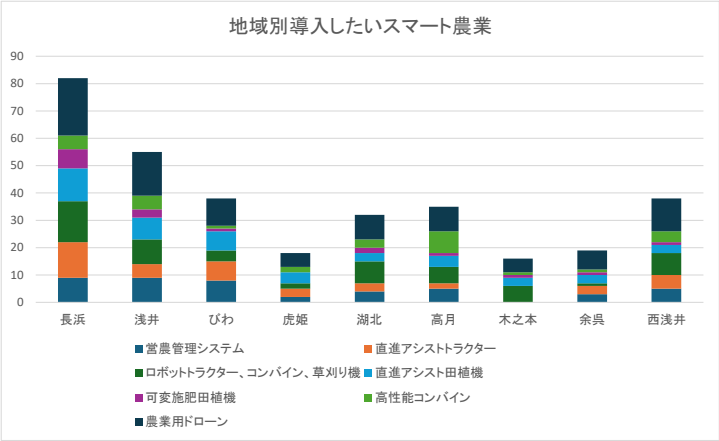
問13 今後導入したい、興味あるスマート農業技術 ※最大3つまで選択可

1	営農管理システム	2	直進アシストトラクター	3	ロボットトラクター、コンバイン、草刈り機	4	直進アシスト田植機
5	可変施肥田植機	6	高性能コンバイン	7	農業用ドローン		

地区名	1	2	3	4	5	6	7
長浜	9	13	15	12	7	5	21
浅井	9	5	9	8	3	5	16
びわ	8	7	4	7	1	1	10
虎姫	2	3	2	4	0	2	5
湖北	4	3	8	3	2	3	9
高月	5	2	6	4	1	8	9
木之本	0	0	6	3	1	1	5
余呉	3	3	1	3	1	1	7
西浅井	5	5	8	3	1	4	12
計	45	41	59	2	17	30	94

1位	農業用ドローン
2位	ロボットトラクター、コンバイン、草刈り機
3位	営農管理システム

その他
自動走行除草機



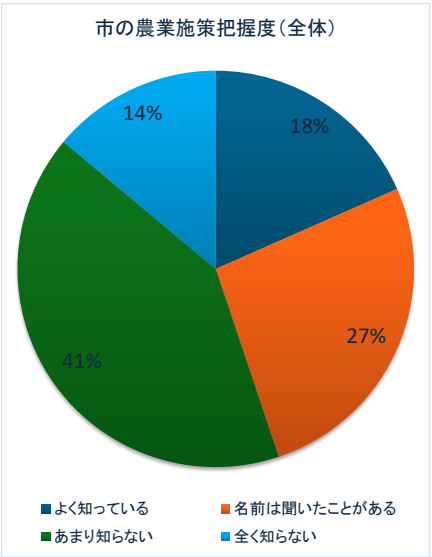
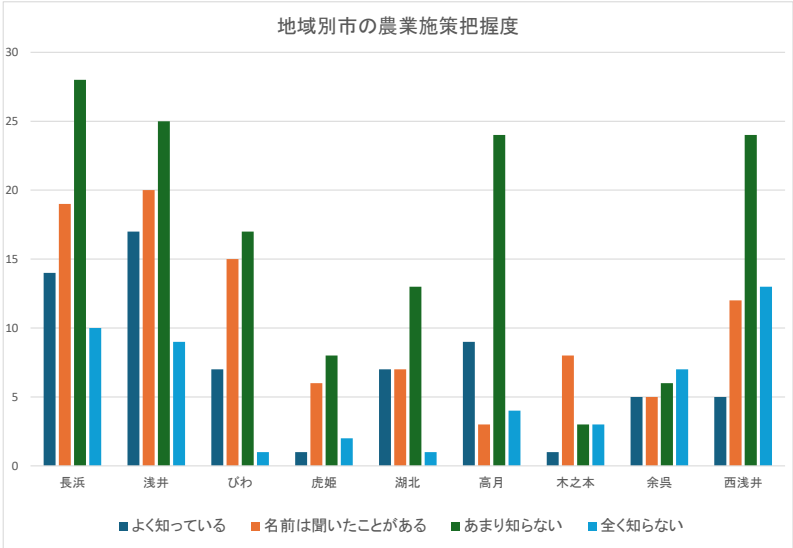
問13 今後導入したい、興味あるスマート農業技術は

	R8件数	R8割合	R7件数	R7割合
営農管理システム	45	16%	36	17%
直進アシストトラクター	41	14%	35	16%
ロボットトラクター、コンバイン、草刈り機	59	20%	28	13%
直進アシスト田植機	2	1%	2	1%
可変施肥田植機	17	6%	15	7%
高性能コンバイン	30	10%	22	10%
農業用ドローン	94	33%	76	36%
計	288	100%	214	100%

問14 市が実施している農業施策を知っていますか。

地区名	よく知っている	名前は聞いたことがある	あまり知らない	全く知らない	計
長浜	14	19	28	10	71
浅井	17	20	25	9	71
びわ	7	15	17	1	40
虎姫	1	6	8	2	17
湖北	7	7	13	1	28
高月	9	3	24	4	40
木之本	1	8	3	3	15
余呉	5	5	6	7	23
西浅井	5	12	24	13	54
計	66	95	148	50	359

(未回答除く)



問14 市が実施している農業施策を知っていますか。

	R8件数	R8割合
よく知っている	66	18%
名前は聞いたことがある	95	26%
あまり知らない	148	41%
全く知らない	50	14%
計	359	100%

問15 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望

●	インフレの中、米価だけが安くして欲しいは間違った考え方と思います。生産コストが高くなっているのに米価が上がらないと農家の収入は上がりません。日本の農業が衰退してしまいます。 ・買取価格2.4万円は確保 ・小規模農家農業機械更新の補助拡充 ・小規模農家の補助支援 大規模農家だけでは農地は守れません。 ・青色申告、認定農家だけ支援するのではなく農業従事者を支援すること ・誰もが認定農家になれるように申請を簡素化すること ・インフレの整備 揚水の水漏れ、区画整備 ・地域の排水溝の泥上げ支援と藻の異常繁殖対策支援。 小規模農家も共存出来る仕組みを真剣に取り組んでほしい！
●	米価の安定を最優先に考えて頂きたい。その為には需要と供給に見合った転作が必要だと思えます。水稻に比べ転作はとても手間がかかるのでそれに見合った補助金を出してもらいたいです。ある程度強制でみんなが25%程度の転作をしてもらえるよう策を講じてもらいたいです。先日ニュースで収穫量に応じての補助金にと載っていましたが、天候等で左右されるので何でも一律では困ってしまうので柔軟な対応をして貰えるようお願いいたします。 私どもの面積では機械の更新が難しく、大規模農家さんばかり補助金を受けられ私たちでは申し込みすら出来ない現状です。 大規模農家さんも大事ですが、小規模農家ももう少し大事にして頂きたいです。 大農家でも小さい農家でもする作業は同じなので小さい農家も大きい機械を買えるようお願いいたします。 小さい農家は人がいないので大きい機械を使って効率良く周りたいたいです。 でないと面積も増やせられないです。
●	個別補償
●	担い手の確保するには、様々な差策が必要です。いい施策をお願いします
●	機械更新を検討する際に補助金率を現状より上げられるように検討してほしい。
●	農地周辺、近隣の農道整備。路肩の崩れや陥没ありで大型機械の通行が危険。また、2車線でも道路幅が狭く車の往来が多い道路は、平日土日にかかわらず草刈や除草剤散布等の作業がお互い危険。 暗渠排水のない白地は排水不良がひどく、圃場が乾ききらないため十分な耕作や畦塗りができない。大雨台風で畑や住宅の水が低い田んぼに雨水が流れ込んで乾く前にまた浸水しているようだ。青地がスマート農業で効率化できても、結局白地に時間がかかりすぎているように思うので、道路を補修する機会にしっかり排水できる高低差や草刈りしやすい路肩をお願いしたい。 また田んぼや畔にレジ袋いっぱいゴミがよく置いてあるので、転入等される時や家庭ゴミの捨て方を知らない人に周知徹底していただくとより安全で効率のよい草刈ができると思う。 助成金を増やしていただけるとよりよい農業の後押しになると思う。気候変動や高齢化で体力的にも農作業が難しくなってきた今、スマート農業を検討する農家は多いと思う。古くなった農業機械の更新にも補助金に頼らないと厳しい。助成金が少ないとどこかがあきらめざるおえなくなる。今年も猛暑になり米の収穫も早まるとすれば、適期に農作業を行うためにかなり省力化や効率化をしていかないと、暑さで体力ばかり奪われ無理をすれば体調を崩しかねないし、適期を逃すの
●	農業機械の値段が高くなり、購入や更新に補助金を出して欲しい
●	内湖干拓では稲作ができていましたが、近年田んぼ土質が粘土したのか、深みが多い田んぼが増えている様に思えます。原因はわかりませんが、地下水位の変化影響かもしれません。調査し、改善出来るか計画してみてもどうでしょう。
●	利用しやすい補助金
●	耕作放棄地の利活用
●	小規模農家は今後どうしようかと思う。大規模化だけが施策なのだろうか？高齢化小規模でも末永く出来る農業は無いのか検討して欲しい。
●	大規模農家に集約されていく中間管理機構では、小規模農家が規模拡大したくても不可能な状況にあることが全く理解されず何年も続いている。平等に情報開示するべきである。
●	耕作条件の悪い所は受け手がない、補助金を付けるとか対策が必要と思う。用水路等農業施設が老朽化している、補助事業はあるが地元負担を誰が捻出するのか？まとまらないと思う
●	国主導による農地集約。多くの所有者が農地を不要と考えるようになってきたため、国が主導して農地を管理、集約化すべきと思う。

問15 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望

●	農地集約。それを公的に推し進める。
●	用排水路抜本的な改修整備 西浅井地域は圃場整備後50年近くになり必要
●	○米価の安定 ○農機具の老朽化に伴う資金の調達 長浜市の補助金で1回限りは老朽化にそぐわない、安易な農機具資金の調達ではないので緩和してほしい
●	農地の集約化は必要と思うが、大規模農家だけを優遇するだけでは、日本の農業は立ち行かなくなる。小規模農家への支援も必要。
●	儲かりさえすれば、みんなやります。 儲かりもしない事を、やらせるのはおかしい。
●	小規模農家です。集約をして大規模経営に舵切されていると思うが、零歳で細々と、先代が購入した機械で頑張っています。 補助・指導などについて、小規模農家にも積極的に情報発信してほしいです。
●	一律にスマート農業に偏りすぎた補助金の使い方に疑問を感じる。今の中山間地域の農業を維持管理しているのは、ほぼ小規模農家かこだわりの強い思いを持った農家であることは間違いないと思う。 大規模農家も、極端な規模拡大に限界を感じているところも少なくないはず。 ・高性能の大型機械に頼る農業 ・農業に頼りすぎた農業 ・価格高騰した肥料、資材に頼る農業 どれもが農地を荒廃させる原因の一つだと感じる。 ハードルの高い補助事業で諦めざるを得ない農業者・団体がいる中で、経年劣化や地理的条件で、十分に機能を果たせない農地や農業施設(用排水・農道等)を現状復帰できる手厚い補助事業もあって然りと思う。
●	圃場整備をやり直し、圃場を今以上に広くする事が出来れば、効率も良くなる為、耕作面積を増やして行く事も出来る。
●	米価の安定化 機械購入の補助金
●	農地を保持しては、維持費(土地改良区賦課金、水利費、固定資産税)が掛かり、10a当たり1万円の年貢では所得は0円で、相続時に農地は固定資産税評価や実勢取引価格の10倍の価格評価になり重税が課せられますので農地を保持するデメリットです。相続税は格差是正の為に実施される税ですが、今日では戦前と異なり、農地、林地から得られる所得は無くても払わされ、子々孫々に負担を負わせ、貧乏を固定化しかねない逆格差を生む様になっています。この農地林地の相続税を0%に引き下げる問題は、国政が解決を行わなければどうにもなりません。国政に対して農業委員会様の働きかけを期待します。
●	整備した圃場が何月ととともにどんどん崩れていて、水漏れや土手の崩れやすさが影響して圃場の環境がよくありません。一度地域ごとに大規模な補修を補助する取り組みがあればいいと思います。 それに伴い用水路から全圃場への自動給水の取り付けなどもあれば、水管理の負担軽減や台風などの荒天時に圃場見回りをする必要もなくなり、用水への転落事故などの防止にも役立ちます。
●	中山間地域では大規模な畑作は難しいので、補助対象の基本面積を小さくして手を上げやすくして欲しい。
●	就業希望者の掘り起こしと育成、及び農業者との交流機会の創出。
●	とにかく経営が成り立つ農業にすることが第一です。
●	国家戦略的な農家の保護。 食料が無ければ国家は破綻する。 輸入依存からの脱却。 中国依存を解消。 米価格が安定しないため、先行きが見通せない。 農家への補助金の斡旋。 知らなければもらえない等、補助金の貰い損ねが出ている。 補助金の説明が複雑で難しすぎる。 マイナンバー等を活用して補助金を受けやすくし、農家の負担を軽減する。

問15 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望

●	燃料価格や肥料価格高騰する時代において、今後もそれらが値上げされるなら、慣行農法では経営が成り立たなく可能性が高いと感じる。 慣行農法に切替え、有機農法や自然農法にする方法を模索しているが、それらに対する支援を充実して欲しい。 なお、スマート農業での規模拡大は、山林が多い日本では限界があり、農地以外の用水路などの農業インフラ維持や農村の公共用地の美観保護のためには、小規模農家の存在が不可欠であり、大規模経営体に農地を集約する以外にも、小規模農家を活かす方策を実施して欲しい。
●	米価の安定
●	補助金、助成金の申請がもう少し簡単でたくさんのバリエーションをつくって欲しい
●	農地を守るには中、小規模の農家がいかに継続してもらうかが必須 採算が合わなくなれば農業経営から撤退せざるを得ない、仕方なく担い手大農家に経営が移ることになる 自分の農地であれば十分な管理をすることになるが、大農家になると所有外の農地がほとんどになり、管理意識が薄れて農地が荒れる方向になりがちになる。農地の集約化については生産性、作業性を上げるためには必要だが 強制的なやり方は中、小規模農家の不満が出る、今後自然と集約方向に流れる。 農機具購入等の各補助金については大規模農家が対象、中、小規模農家は補助対象外がほとんど、補助をするのであれば平等にすること 農機具の老朽化により更新は必要になってくるが、高額な農機具を購入するには補助金の援助がなければあきらめるしかない状況 農地を手放す方向に進む
●	農場の水利ポンプやパイプライン、用水路の老朽化で毎年補修工事がありあと何年持つかが不安。農地が荒れて水漏れ、農道の沈下など老朽化で今後農業を続けて行くためには大規模な改修工事がないと農業をしなくても続けていけない現状 また農業だけでの収入で生活がまだまだ難しい状況では若い後継者は出てこないと思います。
●	米等の作物が需要で価格が変化するので赤字なる可能性がある。このような事が起こらないよう助成もしくは、行政による販路(輸出)開拓をお願いします。
●	農地、圃場は地域が自慢できる景観維持も必要。 大手の組織が担い手として地域に参入してくるのは賛成であるが、畦の草刈りもせず、しても雑な作業で見苦しい。 市の監督責任もあるのではないのかと思う次第。けん
●	毎回補助事業に参加する人より、一回も手を挙げていない人に手厚く補助する機能が必要です。
●	耕作者より農地所有者地主のことも考えて頂きたい。現状では負の遺産に為るため処分したい方がいる。年貢を一反に二俵ぐらいでも良いと思います。
●	今の補助金は大規模農業向きであり、小規模農業が切り捨てられている感じがある。まだ、当面出来る小規模農業者に向けた補助金があれば、農業を続けていけると感じる。
●	カーボンプレジットの制度の明確化 米価の下落に対し資材費の補助 面積に対しての補助金の撤廃し収量に対しての補助金を強化 競争力向上に向けた政策 集約しやすくするために高齢小規模農家の離農促進
●	集落営農組織の具体の補助政策を求めたい。市は集落営農組織をどうしようと考えているのか？よくわからない。実態をよく調査していただきたい。
●	法人の方にはたいして補助などはたくさんありますが 個人に対しては点数などハードルが高くて補助金などはもらえない もっと個人経営をたすけないと若者たちが農業をしてくれない
●	・獣害の被害低減 ・小作農家でも儲かる農業指導 ・農業税金優遇措置政策の考案 ・人手がかからない農業の考案
●	小規模農家への支援が少ない。
●	小規模農家への支援
●	米価を安定させる。 若い人が魅力を感じる米価で必ず儲かることを考えてほしい。
●	小規模農家に特化した助成事業をお願いします
●	新規農業者の支援はあつく感じますが後継農業者には何も支援が無く次世代には継がせられない現状。 将来、放棄地の可能性は大きい

問15 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望

●	消費者へは米価を下げようとして配慮され、農家へは上がるようにされない。昨年以上に経費が上がっているのに米価格は下げようとしてまた借金をして農業経営する様になる
●	昨年度の米価で経営継続していける様になったのに離農する選択は近い。
●	若い後継者の育成を進めること。
●	魅力ある農業環境を作りあげること。
●	農道、水路、畦等の修繕、補修
●	大規模土地改良
●	補助金を活用しようと思うとポイント制なので利用することができない。大農家のみの取り組みのような気がします。税金を活用しているのだから、小農家にもチャンスがいただきたい。あまりのぞみはないだろうけど。
●	長浜南部地区は圃場整備が早く、施設の老朽化が発生しています。
●	給水パイプラインの更新、バルブの更新を計画してください。
●	生鮮野菜に対する価格(収入)安定の支援、農地の少ない農家に対する農地のあっせんなど。
●	市獣害対策の活動が全く見えない(何もしていない)
●	小規模農業者への助成制度の拡充(10ha以下)
●	鳥獣害対策をもっと強くやってほしい。特に、シカとサル。
●	中間地にも入らない、大規模化にも入らない、だから、認定農家にも入らない農地はどうすれば、田と田は段差があり、大きい水田にもならない所は、どうすればいいのか？
●	大農家ばかりでなく、小口の農家にも補助を。
●	後継者の確保
●	主食米生産出荷農家に対して直接補助金の投入が必要(最低2,000円/俵)
●	担い手が意欲の出る農政
●	農業用水がいきわたるようにお願いします。
●	機械や設備について、年度内の購入であっても、補助金を出してほしい。
●	農業収入(水稻)の安定(高値)により、若い人の就労意欲が出てくる。
●	行政の支援がパソコン(インターネット)による申請によるもので、事務処理が出来ないため、申し込みが出来ない。
●	高齢者には、不親切。
●	ここ10年ほど、農地を取得しようとする悪徳経営者によって、農業被害を受けている。営農組合、農協、よろず相談、警察等に相談しているが解決できない状況で困っている。
●	米価の安定、収入の増大
●	米価を下落させないよう取組を求めます。
●	米、大豆、消毒(気候が暑いとき)が大変なので、ドローン希望している。
●	担い手農業者の指導(無責任な農業者が多すぎる)
●	大農家だけでなく、小規模農家でも利用できる施策を考えてください。
●	農地を守る必要なこと、米価を安定し生産費所得補償方式を要望する
●	今まで米が低価格であり、若い方が農業に魅力を感じないのは当たり前である。また、政治の方針も毎年変わるので先が見えない。この状況では、食糧不足にいずれなるであろう。目先の方針しかできない政治にうんざりする。
●	最近、水田のアオミドロ(藻)の発生が多くなってきた。環境こだわり米取組田での、除藻材の使用が出来ると有難い。
●	シカの田への進入が多くなった。駆除して欲しい(河毛)
●	用排水の修理、畦畔のブロック修理などの補助。
●	機械補助も法人ばかりで、家族経営、30ha規模ではもらえない。集落を守りながらも営農している20ha以上の経営者に補助を出してほしい。10ha以下は、拡大予定がなければ、補助は要りませ
●	若者が希望をもって進んで農業に取組めるように、今後も進めてほしい。
●	補助・助成について、経営規模によっては、ポイント不足にて外れ、申請しても、大規模経営者優先で不公平を感じる。
●	小規模農家への機械購入補助制度があるが、農家が購入する時期と申請のタイミングが合わず、利用できない。
●	大規模だけで進めるのではなく、定年帰農者や兼業化を、JAと共に進めてほしい。農業の裾野を広げてください。
●	スマート農業ばかり補助金をだすな。
●	大規模農家だけの支援・補助事業にみえる。中小農家にも手厚い支援を。
●	米の価格は下がるのに、機械代や資材は上がるので、補助金は必要だと思う。
●	大規模農業者の経営規模がMAX(?)で、耕作放棄地貸してる。また、条件不利な田は、耕作依頼しても断られる。このような田が、徐々に増加している。何とかしないと・・・。
●	交付金の増額(生産調整分)

問15 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望

●	個人農業者への補助も必要。 農業者の高齢化が進んでいるが、高齢者ほど自動化された機械が必要です。
●	自分の体を守るのが精一杯(先祖からの土地を守る)
●	中小農業者に対する補助・支援(直接交付金)を依頼したい。
●	国道・県道など農道以外の雑草の除去を、もっと回数多くまじめに行ってください。＝地元の負担がきびしい＝
●	農家への補助金の増額
●	とにかく米価の安定
●	トラクターや田植機が沈むような田があるので、補助金でなおしてもらえないか。
●	余呉湖上流地域は、稲作にとって重要な水不足の危機が迫っている。土地改良区の揚水ポンプ等の老朽化で負担が高額になり、耕作者離れが心配。 心配！心配ばかり
●	鳥獣害が多い。(シカが特にひどい)イノシシも多い。 駆除対策
●	補助金のハードルが高すぎる
●	昔やっていたいただいた営農指導や営農懇談会って、今でもやっておられるんですか？ やっておられるならば、案内がほしい。周知してください。
●	農業機械の新規購入の補助費用の増大
●	猿を駆除してほしい。畑がサルのエサ場になっている。
●	鳥獣害対策費、各字に届くようにしてほしい！ 6月20日 現状5反が水張上シカに食べられている。
●	農地を守る(集落を守る) 営農組合を育成、継続体制
●	守れないと思う。声の大きな人ばかり優遇する政府には、何も期待していない。
●	農業支援の充実(機械補助制度の拡充) 生産者米価の安定、支援策。
●	米価の安定。農業機械、資材の低減
●	補助金施策の強化
●	米価の安定 25,000円/俵 以上
●	今日も中山間の地の草刈りを完施、手間は、広手の3倍はかかるが、自分の田だし、補助事業は大事と思う。
●	大規模農家では、畔の草むしり等、管理が行き届くか心配であり、農業を継続したいが、農業機械の更新ができない。助成が必要。あまり貯蓄もできない。
●	担い手育成、支援の充実
●	用排水路の老朽化や維持する人の不足及び農地の集約のため、再基盤整備による効率化が必要だと思います。
●	小規模農家への支。 農家人口の下支えしているのは、小規模農家です。
●	本年、オオバンによる鳥害による15aの植え直し、サルによるハウス2棟に穴を開けられ、また、ネギもほとんど全滅。つくづく農業が嫌になった。
●	首相が増産といった直後に、農水大臣がいやそれはダメといい、農政のいい加減さにあきれ。いまだに百姓に、生かさず殺さずの農政が続いている。
●	各業界が値上げする中、米が高いという報道ばかりで、必要経費が上がる中、おかしい状況が続いている。手間賃も出ないような米価では、農業をやろうという人は出てこない。市の水稻への支援制度は、野菜・果物等に比べて少ないと思う。
●	減田や生産調整を私に押し付けしないでください。 令和9年度から、所有の面積全て水稻作付けします。
●	農地の条件が悪いので、まずは基盤整備が必要だが、地主は高齢者なので費用を出せない。また、後継者の問題が大きい。どうにもならない。
●	同じくらいの規模の農家にも、多少の補助を受けられる施策を望む。
●	地域の農業の維持発展には、その地域に生活する人が守ることが重要。地元で農家を育てるための支援を望む。
●	農業用資材が高いため、採算が取れない。(肥料、農薬等)機械も含む
●	農業機械更新への助成拡大
●	各村単位における後継者の減 少人数に村営農施策への協力等
●	補助事業の件で、大型機械更新時、法人組合でなければ補助金がでないと聞いたが？

問15 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望

●	農作業の協業化の拡大
●	耕作している田の隣地は、すべて大規模農家が耕作しているが、田植え時期が1カ月以上異なる田があるため、中干時期に水漏れがあり困ることがある。できれば同じ時期にお願いしたい。
●	個人向けの補助金が少なすぎる。機会が高いのに買えない。案内もわかりにくい。税金は取りに来るのに、補助金は見にくい広報のみ。各個人に電話で連絡するくらいしてほしい。
●	小規模農家への補助がない。大規模農家優先となっていないか。 小規模農家の維持は必要である。
●	畑にはアライグマ、水田にはヌートリア、……難しいな～
●	中規模農家へも、農業を続けられる施策を考えてほしい！
●	農地の基盤整備を(用水路や排水路の補修など)早期にお願いします。
●	農業資材、とりわけ肥料代への補助をお願いします。
●	高齢化が進んでいます。20年遅れの国の施策で、農業者は混乱。去年は、思いがけない高い米価で、令和8年以降は大変です。コロコロ変わる農業施策です。農業者がいなくなる。
●	担い手に委託
●	農業用水ポンプの交換。水路補修。
●	獣害対策、シカ、サルの捕獲をお願いします。
●	10aあたり、20,000円の支援。
●	カメムシ対策は急務かと思います。 防除剤の補助金など。検討してほしい。
●	東高田郷にイノシシがいるので、電柵作業に手間がかかるし、費用もいる。市として、対策お願い
●	若者に魅力ある農業。収入の安定(米価の安定、補てん、農業機械更新への助成等)若者の就農が出来る施策。
●	機械更新補助
●	米価安定化
●	機械が古くて更新できない
●	トラクター、田植機、コンバイン、草刈機等の購入、修理等の補助。
●	農業機械を更新する際に各種補助金制度があるが、申請手続きが難しすぎて、申請できず更新できない。自腹では高すぎる。
●	後継者のいない農地を国が取得し、希望者(農業を行う意欲のある人)に再配分するか、国が新たに農地以外のものに転用するかしてほしい。
●	保全管理の草刈りができない。
●	中山間地域への補助金を増やしてください。
●	農地 圃場の再整備。
●	農業 肥料価格の安定化を希望する。
●	農業が魅力ある職業になればと思います。 また、国や県の補助がもっと簡単に受けられるようにしてほしいです。
●	計画的に新しい機械を助成していくより、壊れた時に、助成してほしい。小規模農家は、年計画では、対応できない。
●	高温化のもとの仕事で、水田の畦などは自己責任であろうが、水路や農道は、官地であり、公で責任をもって対応してもらいたい。カメムシや雑草が侵入してくる。
●	鳥獣対策
●	ライスセンター
●	規模の小さい農家への補助の拡大をお願いします。
●	環境こだわり米の単価アップを、県、市独自のものをしてほしい。国が上げるのはもちろんだが。

問16 地域計画に関する意見

●	小規模農家は地域計画から除外されている様に感じます。 大規模の方は纏まった農地で自由に作付でき 隣りの農家に迷惑かけてもお構いなしです。 これが目指している地域計画なののでしょうか。 除草は適当、カメムシ防除はしない、田植えは遅いので畦から水漏れし乾かない農地の管理は ずさんです。地域計画をされるなら隣りの農家と地域に迷惑かけない徹底した指導をお願いしま
●	農地集約化には賛成しておりますが 集約して大区画化といわれましても、私達は野菜も作ってまして3反弱の田んぼが作りやすいので その点は考慮してもらいたいです 私達の集落では以前から徐々に集約してきていますが条件の悪い所や地権者の兼ね合いもあり なかなか今以上は進められない状況です もう少し進められると良いとは思っています
●	今年初めて近隣の農家の声かけでカメムシ防除を大農家に作業委託しドローン散布してもらえ ることになった。今まで人手不足で遅れを取っていたが、今後は隣の田んぼの栽培状況に合わせて いけば水管理や防除もより効果が表れるのではないかなと思う。 隣接する圃場同士で栽培作物や作付時期が違いすぎると水やカメムシが行ったり来たりしたりし てお互い足の引っ張り合いになっているように見えた。圃場の高低差で水が低い方へ落ちて肥料 や除草剤が流れやすいことも分かった。農地集約化がさらに進めば畔も必要なくなり、雑草管理 も減り、作付面積も増えるので、地域計画で足並みをそろえやすくなったのではないかなと思う。地 域計画の進捗状況がホームページ等で詳しく分かるものがあれば参考にしたい。 また、畔を取り除いたり、暗渠排水のない圃場の整備等、機械がないと難しいので、やはり小農 家にも助成金を引き続きお願いしたい。 去年米価の高騰を経験して同じ作業なのに高値で売れるだけでこんなに違うものかと実感した。 しかし消費者が高くて米が買えず腹いっぱい食べられないと働く気力がなくなり日本の産業全体 の元気がなくなると困ると感じた。元気に働いて利益を出してもらいしっかり税金を納めてもらい、 農家が必要な時に手厚く助成金で支えてもらえばまたいい米でお返しできる。 米が余るときはやっぱり減反して麦大豆野菜も作れるように小農家でも最低限の農業機械は必 要だ。規模は違ってやることは同じだから。もっと小農家が増えれば地域の川堀りや除草作業 の人手が確保できるのに。そのためには小農家で生活できるくらいの収入は得られるようになら ないといけない。本当に農業って難しい。
●	地域計画を進めれる為の知識が足りない
●	説明会をして推進をはかるべき
●	地域農業の担い手不足のため、新しい農業を創作する計画をしてはどうでしょう。 また取り組んでいくひとを支援するとか。
●	農地 耕作1筆拡大
●	過疎高齢化で農地の維持が出来なくなるのではないかな？地域の衰退を招く危機感が有る。
●	近隣の農家が共通理解しなければ不可能である。大規模農家か対立し合っている集落では絶対 に進みません。
●	地域計画の更新。集約できるように援助
●	集荷したければ、量を買わずに味で買え！
●	全然進んでいない
●	地域計画はあまり知らない
●	農家の成り手もほとんどおらず、近い将来、このままでは農村が維持できなくなると強い危惧を感じ ています。 一つの農家・大規模経営体を増やす方策ではなく、農業者の数自体を増えるような方策を実施 して欲しい。
●	隣接する集落の担い手耕作者の今後五年ごと程度の状況を隣接集落農事組合がある程度把握 できるような情報交換の仲介があると良いかなと思います。急に大きな面積を隣村から頼まれると いうような状況が無いように
●	耕作放棄地について年年増えてきますがどうしていいか検討中
●	地域計画の担当ですが勝手に圃場移動が有りお手上げ状態です。 自治会総会でも必ず改良組合を通していただきたいとお願いした
●	利便性の良い所は宅地にした方が良くと思います。

問16 地域計画に関する意見

●	地域計画は殆ど役に立っていない。農村集落の将来をどのようにコントロールしようとしているのか。急速に崩壊へと向かっているように感じています。
●	青地、白地など色々あるが 長男など同じ自治会で住宅を建てる時など規制緩和をしていただきたいと思います。
●	地域住民のみで話し合いをしてもしがらみや利害関係があるので市役所や県が方向性を示してくれないと話もまとまらない。ある程度強制的にしてもいいのでは？と思う。
●	日本農業の将来ビジョンが見えない。5年後、10年後、20年後の日本の農業をどうしようとしているのか？
●	長浜市も地域毎の人口減少も年度毎の減少が予測できるのでしょうから、年度毎の政策を考案されたし！
●	集落営農について、学習会等開いて欲しいです。すでに有るのかもしれないが参加の方法が解らない。
●	地域では何も出来ないのではないのでしょうか。
●	小規模農家が辞めてしまったら大規模農家だけで農地が守れるのか。 自治会内の大規模農家が病で倒れた時どう対応していいのか不安。
●	ほぼ農業法人に耕作を委託している地域において、地域計画とは？
●	いくら経営努力しても米価格が下げられ、経費があがり成り立たないので安定して農業経営ができるようにして下さい。
●	情報が少なく計画がよくわからない
●	白地対策⇒小規模土地改良
●	当町では、計画のみで終わって終わってしまうだろうと思われる。あまり期待していない。
●	早期の農地の集約化と圃場の拡大を計画してください。
●	他市町にない長浜独自の施策等。 水稲、小麦、大豆の防除の助成を考えてもらい早急に(10a/1,000円)
●	地域計画について、役員が年々代わるため、内容等が自治会員に説明できないので、年1回担当者を集め制度説明会を。
●	10年先には、農家のあり方が見えない。
●	地域計画はしましたが、大口農家の方が亡くなられたため、もう1度作り直しです。
●	獣害対策を真剣にしてほしい、特にサル。
●	栽培だけでなく、地域の農村の保全も考えることが大切。
●	規模拡大を図ることは、中山間地にとって農業経営上一番の目的となっていないか。これは疑問である。より経営的にも利益の上る恋率的な農業技術の開発が必要(人口減少、高齢化社会においては)なのではないか。
●	用水路、農道舗装の老朽化が顕著であるので、更新計画を立てるべきで。
●	地域で問題解決が、現実出来ていない。
●	集約についての指導には、限度があると思う。
●	地主の方にも、地域計画はどのようなものか理解してほしい。
●	圃場整備されて数年が建ち、特に推理関係の老朽化がある配管の整備が必要。
●	効率が悪い狭小変形農地は、小規模農家が守っている現状です。 支援をお願いしたい。
●	集約だけを進めるのではなく、農業者を増やす取り組みをお願いします。
●	各集落において担い手不足により、生産組合解散の方向にあり、自治会が農業に関連しなければならない
●	制度はいいと思います。
●	現状が不明なので特になし。
●	土地と実態が合っていない。補助金、融資を利用したいが、説明がつかない事もある。
●	昔のような中山間事業(補助)を、復活してほしい。
●	合理化のため、耕地集約に協力するよう、市の協力、体制強化。
●	人が住まなくなりました。もう無理です。
●	圃場や用水路の改修・改善補助が行われなければ、地域計画は、進めることができない。
●	水路保持の畦畔の修復が必要
●	耕作条件が悪いので、まずは農地の基盤整備だが、高齢化で地主はお金を出さない。
●	農地の維持管理に草刈りが必要です。市に助成を求む。
●	農地を守るためには、必要な施策だ。1筆1筆地道な対応が求められる。
●	個人農家は自分の土地を守るため管理するが、大農家は畦畔等の草刈りをしない。借地のため管理ができない。そのため、害虫や獣の発生が多くなってきた。
●	農業者も、米価安、肥料高、収入減で限界である。もう無理。
●	地域計画の色分けについて、他の町のことが全く分からない。(どういう風に振り分けているか)

問16 地域計画に関する意見

●	具体的な進展を目指して、農地集約、集積を進めてほしい。
●	変形農地や、小さい農地が、どうしても放棄地になってしまう。 大型担い手が、良いところとりか。
●	農地集約化の促進(耕作者同士での耕作支援)
●	私は高齢で86歳、後継者が会社員であり継続しないので、50aを個人で耕作していただいている。 個人の方をお願いしてあります。現在はありません。
●	農地集約化は、絶対しないしてほしい！！
●	5年後、10年後が本当に心配である。
●	古い機械は、部品の供給年限が切れて部品が手に入らないし、続けるにも機械なしでは、離農し かないですね。
●	大農家は、あまり草刈りや水管理が十分でなく、農道も泥だらけにするので、周りから苦情がでて
●	団地は効率UPになるが、農地では、土地の価格が全く評価額に達しない。土地所有者の利益が 守られない！
●	山間地の水の確保
●	農地集約化の指導